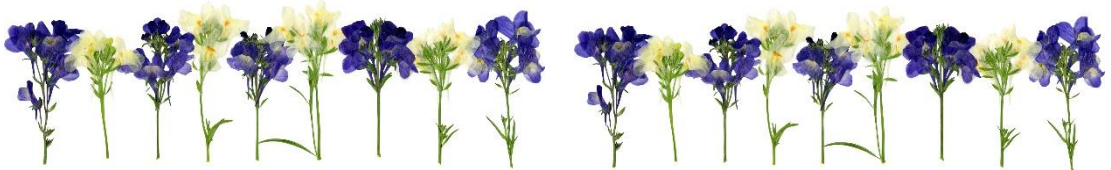


押し花との出逢いに感謝

新海伸江

実家は生花店、父は華道教授の為お花が大好きです。資格取得し早速 JA 女性部押し花クラブを発足し、全国誌「家の光」に掲載していただいた時は、先生と呼ばれるにはお粗末な私でした。

仲間と共に長く押し花を楽しんでくださる人は心豊かで心根の優しい人ばかりで、三人娘を育てる私にとって素晴らしい指針でした。いくつもの作品を残し天へと旅立ったあの方この方を思い浮かべ前に進みます。押し花ありがとう。



奇跡

ペンネーム／リリー

突然亡くなられた先生宅のお庭に真っ白いアネモネが咲くころ、
通路脇の草に紛れて丸々と太った親指大の「クジャクサボテン」の
一片を見つけた。

大事に持ち帰り、一年目は脇目をつけて2本に、二年目は5本に、
三年目の春は背丈も伸びて大きく充実した花芽もついた。蕾は先生
の命日の朝に見事に開花した。濃い黄色の見たことない美しさと、
命日に咲いた偶然に驚喜した。次から次へと咲く花に先生が「押し
たらいい。押したらいい。」と言っているような気がした。

先生ありがとう。L49額で素敵な額が出来上がったよ!

今年もまた、たくさんの蕾をつけた。

